

思えば一昨年の夏、東先生から電話があり会社まできていただきました。
何のことかまったくわからずお話を伺うと会長をお願いしたいという、思いもしなかった言葉を聞きました。
ロータリー歴は長いですが不良会員であり、まったくの青天の霹靂でありました。不安ではありましたがこんな私によければとお受けすることにしました。
その時から少しは今までの慣習の中を変えられるものは変えたいと思い、テーマを温故知新にさせていただきました。
結果は私が判断するものではないですが、高松東ロータリーの歴史の中の一つの布石になったのではないかなと思っています。
幹事をお願いした藤野君、彼とは25年来のおつきあいになります。本当にがんばってくれました。
僕の苦手なところは全てサポートしてくれました。ただあまりにまっすぐすぎるころがあり壁に当たることが少しありましたね。あなたはいつも会員全員の事を考え行動してきました。会員の皆様すべてに声を掛け、気遣いをしてきました。そのことは僕だけではなくみんなが感じていましたよ。幹事の鑑であったと思います。ほんとうにありがとう。
今年は少し無理をしていたので髪の毛が減ったと思います、次年度はゆっくりして増毛してください。
橋本さんを副幹事をお願いした時も最初から決めていました。僕と同じぐらい不良会員だった橋本さん。
でも僕の時とは絶対に司会をしてもらおう、そして華のある例会にってもらおうと考えていました。
一年間やり遂げてくれました。無理をして来てくれたこともあったと思います。大変だった時もあったと思います。ほんとうにありがとう。とつても楽しい一年間だったよ。来年もがんばろうね。
山村君も藤野君と同じぐらい25年来のつきあいになりますね。
病氣もしてきた君は自分のなかで歯がゆさがあったことでしょう。でもそれも神様が与えてくれた試練だと思って自分なりのロータリーを作り上げてください。決して無理をせず、でも会員には有益な例会をして頂けると思っています。
いよいよ始まりますが共にロータリー活動をしていきましょう。
最後に全ての会員の皆様、大変お世話になりました。
くだらないお話に毎週おつきあいいただきました。笑いたくもないのに笑っていただき感謝致します。
藤井とは誰だろう、から少しは知っていただけただけの一年間だったと思います。
これからは少しは休むかもしれませんが今までどおりロータリー活動に参加してまいります。
どうかよろしくお願い致します。

幹事報告

この一年間例会運営でお世話になりました何名かの方に、この場をお借りして御礼をさせていただきます。
まずは副幹事の橋本さん。藤井会長の新たな試みで例会の司会進行をして頂きました。見事一年間やり遂げて頂き、完全復活もされました。幹事として非常に助かりました。ありがとうございます。もういつでも幹事職できると思いますので、是非オファーしてあげてください。
次に例会プログラムを担当頂きました尾崎委員長。毎回非常に丁寧な依頼文を各委員長さんに届けて頂き、この一年間で藤井会長よりも「温故知新」を伝えられたと思います。ありがとうございます。今度は藤井会長に温故知新について教えてあげてください。
次に例会中、皆さんと同じ時間帯に食事が取れなかったSAAの清水さんと友國さん。来週からはゆっくり食事を取ってください。ありがとうございます。
続いて、会計の浜さん。冗談がすぎる事がたまにあります。会計の使い込みはなかったようです。次年度は数十倍大変ですが、お酒を飲む暇がないくらい頑張ってください。
次に会報雑誌ITの長尾委員長。今年度からボイスレコーダーによる録音はやめて、卓話や客話に集中して頂き週報には要約した文章の掲載をお願いしました。結果委員会の負担が減ったと共に紙面の字数も減ったかもしれません。ただ委員長が結構お休みされていて代わりに副委員長の高橋君がボイスレコーダーを隠し持っているのを見て笑えましたが、とにかくありがとうございます。
そして何よりも大きな声でお礼が言いたい方がいます。事務局の白石さん。誰よりも早く会場入りされ例会の準備をして、終わっても片づけをして最後に退室されています。それだけでなくロータリーの仕事は山のようにあり、毎日のようにメールや電話でやり取りさせて頂きました。白石さんあつての高松東ロータリーだと気づかされた1年でした。本当にありがとうございました。今後も10年20年とお世話になりますので、未永くお願いします。
最後に藤井会長。先週の会長挨拶で初めて褒めて頂き、幹事を務めてよかったなと思ったのも束の間、週先末にまた私の手を煩わせる出来事がありましたので、お礼を言うのは止めときます。
一年間温かいまなざしで見守って頂きました会員の皆様に心より感謝しまして結びとさせていただきます。
一年間ありがとうございました。

高松グリーンRC 平田 真由美君、向井 亜樹君、難波 ひとみ君

夜間例会

最終例会は今期を象徴するといってもいい夜間例会でした。
感動あり笑いあり、当クラブの仲の良さが大いに発揮された例会となりました。
藤井会長の三線、米田ご夫妻、国領君、高橋君の即席バンドによる「三線の花、島人ぬ宝」の披露で壮大な最終夜間例会の幕を閉じました。藤井会長、藤野幹事一年間たいへんお疲れさまでした。

